

TE-W17SZシリーズ 取付マニュアル

TE-W17SZ シリーズ（以降本製品と記述）の取り付けには、車両部品の取り外しや加工が必要になります。本紙に記載された手順や注意事項にしたがって取り付けてください。

⚠危険

マニュアル車へ取り付けることは、絶対にしないでください。マニュアル車は、冬季にパーキングブレーキの凍結を防ぐため、パーキングブレーキをかけずにギアを「ロー」もしくは「バック」に入れて駐車する場合があります。また、坂道などに駐車する際にもギアを「ロー」もしくは「バック」に入れます。その状態でエンジンスターターを使用すると、無人走行の原因となり、思わぬ重大事故につながります。



●マニュアル車には、取り付けできません。



●12V車専用です。トラックなどの24V車には、取り付けできません。



●外車・特種用途自動車には、取り付けできません。



●キーフリーシステム・スマートキーシステム・純正セキュリティアラーム装着車には、取り付けできません(適合車種除く)。



●アクセル操作が必要な車

●雨滴感応ワイパー装着車には、取り付けできません。取り付けると車両故障の原因となります。



●チョークレバーを引く車



●年間を通じて、始動操作をして2秒程度でエンジンのかからない車

△注意 本製品およびオプション・アダプター類の取り付けには、車両電装に関する専門知識が必要です。車両への取り付けは、お買い求めの販売店またはカーディーラーにご依頼ください。

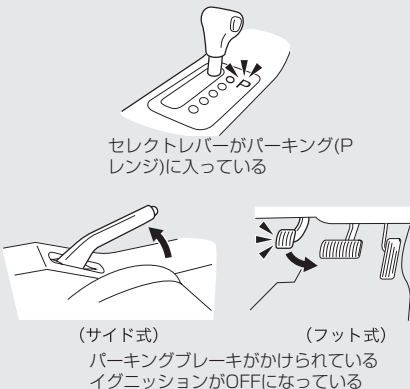
△注意 配線作業時は、車両バッテリーのマイナス端子を外してください。バッテリーを接続したまま作業を行うと、コードをカシメる際やコードの接続時に工具が車体金属部分に触れてショートする恐れがあります。

△注意 あまったコード類はショートを防ぐため、必ず絶縁処理してください。また、ワンタッチコネクタやハーネスなどの接続部分には、必ず絶縁テープを巻いてください。

△参考 本製品を他の車両に取り付け直すときは、本体に記憶されているP/N検出データを消去する必要があります。その場合は設定スイッチ2をいったん「フットブレーキ検出」にしてP/N検出データを消去してください。

配線のしかた (ドアロック配線の方法は裏面をご覧ください)

1 車両が次の状態になっていることを確認します。



2 アンダーダッシュを外して、本体の取り付け位置を仮決めします。

本体はアンダーダッシュ内に取り付けます。運転を妨げないか注意して、おおまかな取り付け位置を決めます。

△参考 まだ固定しないでください。

△メモ 場所決めのポイント

- ・しっかり固定できますか?
- ・専用ハーネス(TE106相当品)の長さは足りませんか?(ハーネスが本体に届かないときは、別売のTE201「延長ハーネス50」を使用してください。)
- ・本体の設定スイッチは切り替えやすいですか?
- ・本体のアンテナ部分が車両の金属部分(ボディやコード類など)から5cm以上、離れていますか?

3 車両のボディコントロールモジュールのコネクタを抜き、専用ハーネス(TE106相当品)をしっかりと接続します。



△注意 必ず正しいコネクタに接続してください。誤った場所に取付けると、車両故障の原因になります。

△メモ 配線場所は車種によって異なります。詳しい配線場所については弊社ホームページから車種別ビットマニュアル(取り付け情報)をご確認ください。

4 専用ハーネスの各配線を車両へ配線します。

- アースコード(黒) → 車両の金属部分を固定している無塗装のボルトに共締めします。
- スターター → 接続端子の保護キャップを外し、車両のボディコントロールモジュール内端子に接続します。

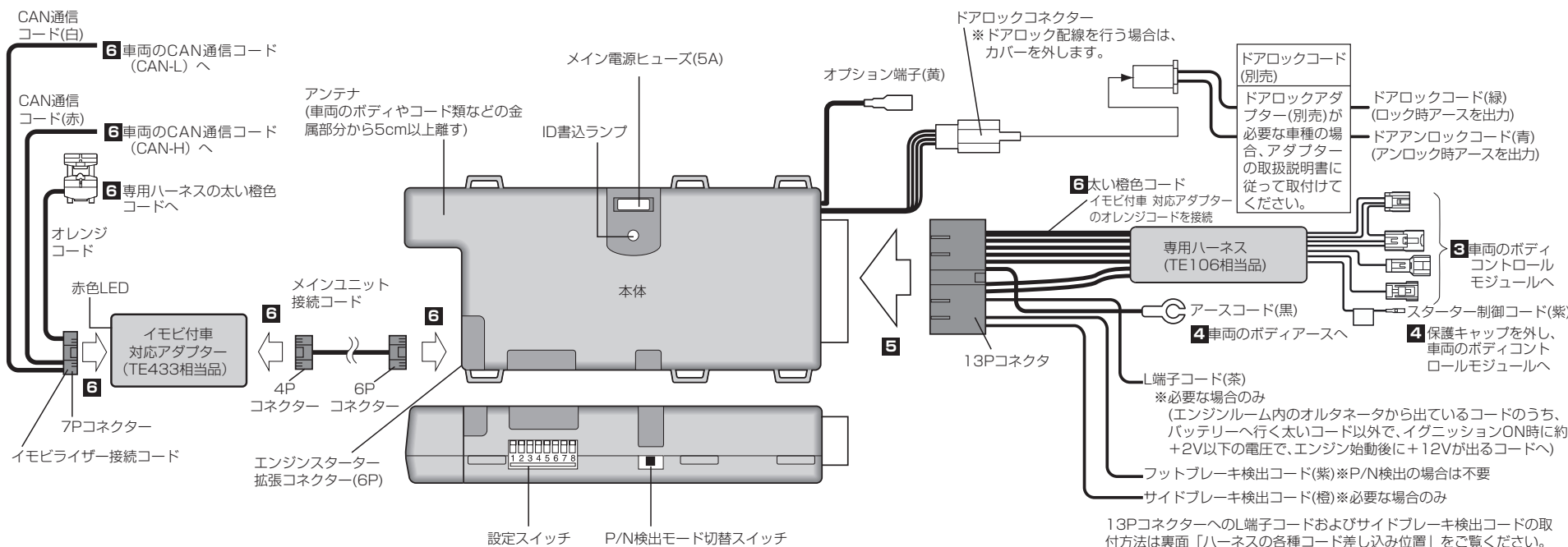
△注意 アースが不完全のときは動作不良の恐れがあります。アースは正しく取り付けください。

△注意 オーディオやナビゲーションなど、他の電装品と同じボルトにアースを取り付けしないでください。機器が誤動作したり、オーディオのメモリーが消失する恐れがあります。

5 13Pコネクタを本体にしっかりと差し込みます。

6 イモビ付車 対応アダプター(TE433相当品)を取り付けます。

- 1) メインユニット接続コードの4Pコネクタを、イモビ付車 対応アダプターの4Pコネクタに接続します。
- 2) メインユニット接続コードの6Pコネクタを、本体のエンジンスターター拡張コネクタに接続します。
- 3) CAN通信コード(白)を車両のCAN通信コード(CAN L)へ、付属のワンタッチコネクタ(赤)を使って接続します。
- 4) CAN通信コード(赤)を車両のCAN通信コード(CAN H)へ、付属のワンタッチコネクタ(赤)を使って接続します。
- 5) オレンジコードのワンタッチコネクタを専用ハーネスの太いオレンジコードへ接続します。
- 6) イモビライザー接続コードの7Pコネクタをイモビ付車 対応アダプターの7Pコネクタに接続します。
- 7) すべての配線が完了した状態で、イモビ付車 対応アダプターの7Pコネクタ差込口の左横奥にある赤色LEDが点灯している事を確認してください。
※ LEDが点灯していない場合は、各配線の接続および本体の専用ハーネス(TE106相当品)の接続を確認してください。



ハーネスの取り付けが完了したら、裏面を参照して動作確認と本体の設定を行ってください。(ドアロック配線を行う場合も裏面参照)

動作確認と本体の設定

車両の特性や使用環境に合わせて本体の設定をする必要があります。また、ドアロック配線を行う場合は、**7**～**8**の作業を行ってください。

1 イモビ付車 対応アダプター(TE433相当品)の初期設定を行います。

1) 車両本来の方法でエンジンを始動すると(※)、純正キーのイモビライザーデータを読み込みます。読み込みが完了するとイモビ付車 対応アダプターの赤色LEDが3回点滅した後、消灯します。

※車両のエンジン始動方法については、車両の取扱説明書をご確認ください。

2) 車両イグニッションをOFFにし、キーシリンダーからキーを抜きます。

2 P/N検出が可能か確認します。

参考 本製品を他の車に取り付け直すときは、P/N検出データを消去する必要があります。その場合は本体の設定スイッチ2をいったん上側(「フットブレーキ検出」)にしてP/N検出データを消去してから、設定し直してください。

- 1) 車に乗ります。
- 2) セレクトレバーを「P」にしてイグニッションを「OFF」にします。
- 3) 本製品のリモコンでエンジンをかけます。

エンジンが掛かる場合

P/N検出データが設定済みか、フットブレーキ検出に設定済みです。このまま使用してください。

本体から音が出る場合

「ピー・ピー・ピー・ピー、ピー・ピー・ピー・ピー」と鳴ったときは、手順4)に進んでください。他の音が鳴ったときは、取扱説明書の「エラー表示一覧」を参照して対処してください。

- 4) 20秒以内にイグニッションを「ON」(メーターパネルが点灯する状態)にします。
20秒以内に操作できなかったときは、手順2)からやり直してください。

操作後、しばらくしてから本体が「ビ・ビ・ビ・ピー、ビ・ビ・ビ・ピー」と鳴ったとき
専用ハーネスの取り付け状態を確認してください。

操作してすぐに本体が「ピー」と鳴ったとき
手順5)へ進んでください。

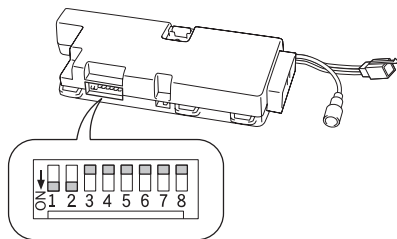
- 5) 20秒以内にブレーキを踏みながらセレクトレバーを「D」または「R」にします。
20秒以内に操作できなかったときは、手順2)からやり直してください。

本体が「ビ・ビ・ビ・ピー、ビ・ビ・ビ・ピー」と鳴ったとき
車両がP/N検出に対応していません。フットブレーキ検出コード(紫)を、「車両のフットブレーキを踏んだときに12V」で「離れたときに0V」になるコード(*)に、付属のワンタッチコネクタで取り付け、本体の設定スイッチ2を上側(OFF)にしてください。
*通常はブレーキペダルの根元にあります。

本体が「ピー」と鳴ったとき
手順6)へ進んでください。

- 6) セレクトレバーを「P」に戻してイグニッションを「OFF」にします。
これでP/N検出データの設定は完了です。

3 用途に応じて、設定スイッチを切り替えます。



設定スイッチ

スイッチNo.	機能	OFF	ON
1	パーキングブレーキ検出	検出する	検出しない
2	フット/PN切替	フット	P/N
3	IG2制御	通常	特殊
4	L端子配線	なし	あり
5	未使用	-	-
6	グロータイム	8秒	5秒
7	OP端子出力	A	B
8	ID書込	通常	書込

は工場出荷時設定です。

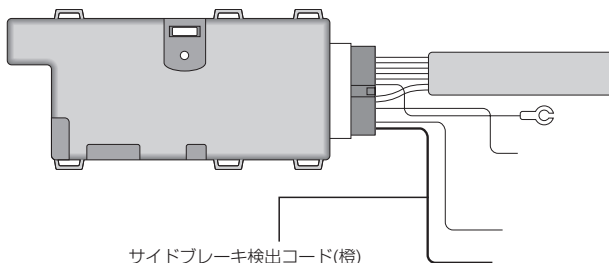
メモ 詳しい設定内容は、取扱説明書の「取り付け時の設定」を参照してください。

4 動作を確認します。

- 1) 車両のセレクトレバーを「P」にします。
- 2) キーを抜き、パーキング(サイド)ブレーキをかけます。(スマートキー装着車は純正スマートキーを車から離れた場所へ移動させます。)
- 3) リモコンでエンジンをかけ、エンジンが正常に始動するか確認します。
エンジンがかからないときは、取扱説明書の「エンジンスターター機能が作動しないとき」を参照して対処してください。

5 必要に応じて、市販のワンタッチコネクタで、サイドブレーキ検出コード(橙)を車両の次のコードに取り付けます。

- ・パーキング(サイド)ブレーキをかけたときに0V
- ・パーキング(サイド)ブレーキを解除したときに+12V



サイドブレーキ検出コード(橙)

メモ 寒冷地などでパーキング(サイド)ブレーキをかけずに駐車する場合は、この作業は不要です。

6 サイドブレーキ検出コード(橙)を取り付けた場合は、設定スイッチ1「パーキングブレーキ検出」を「検出する(上側)」にします。

メモ 寒冷地などでパーキング(サイド)ブレーキをかけずに駐車する場合は、この作業は不要です。

7 ドアロック機能を使用するときは、車両のドアロックの制御方式に応じて配線します。

マイナス制御の車(TE202適合車種)の場合

- 1) 別売のドアロックコード(TE202)の緑コードを次の条件を満たすコードに接続します。
・車両のドアロックスイッチを押したときに0V(アースと導通)
・スイッチを離しているときに+12V
- 2) ドアロックコードの青コードを次の条件を満たすコードに接続します。
・車両のドアアンロックスイッチを押したときに0V(アースと導通)
・スイッチを離しているときに+12V
- 3) 本体のドアロックコネクタのカバーを外し、ドアロックコードのコネクタをしっかりと差し込みます。

マイナス制御以外の車の場合

店頭の車種別ハーネス適合表を参照して、指定されたドアロックアダプターを使用してください。

注意 車種によってはドアロック機能が使用できないことがあります。店頭の車種別ハーネス適合表、または弊社ホームページで確認してください。適合しない車両に配線すると、車両故障や不具合の原因になります。

8 ドアロック配線を行なった場合は車両のドアをすべて閉めて、ドアロック機能の動作を確認します。

9 本体を付属の結束バンド(大)でアンダーダッシュ内にしっかりと固定し、余ったコード類を付属の結束バンド(小)で運転の妨げにならないように束ねます。

10 付属の危険シールを、エンジンルーム内の目立つところに貼り付けます。



これで本体の取り付けと設定は完了です。

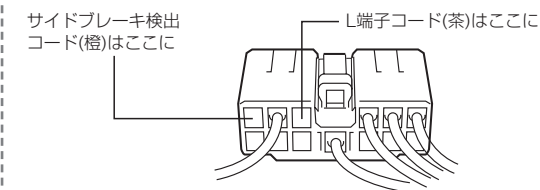
参考

車種別ビットマニュアル(取り付け情報)もご覧ください。ビットマニュアルの参照方法は、店頭の車種別ハーネス適合表をご覧ください。ただし、ビットマニュアルが用意されていない車種もございます。また、ビットマニュアルはオプションなどすべての配線を網羅するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

ワンタッチコネクタの使いかた

- 1) 本製品のコードを差し込む
- 2) 車体側のコードを通す
- 3) プライヤーなどで金具を押し込む
- 4) カバーをして絶縁テープを巻く

ハーネスの各種コード差し込み位置



コードの差し込みかたは次のとおりです。

- 1) 千枚通しなど先のとがったものを使ってロックピンを外します。
- 2) カシメ部を下にして指定の位置にコードを差し込みます。
- 3) ロックピンを元に戻します。

取り付けに関するお問い合わせ先
カーメイトサービスセンター
Tel:(03)5926-1216(代表)
Fax:(03)5926-1218